

ウズウズカレツジ プログラマーコース

SQL文の送信
はじまる!!

～データベース接続の5ステップ～

復習

ステップ①
JDBCドライバのロード

ステップ②
接続の確立

ステップ③
SQL文の送信

ステップ④
抽出結果の取得

ステップ⑤
接続の解除

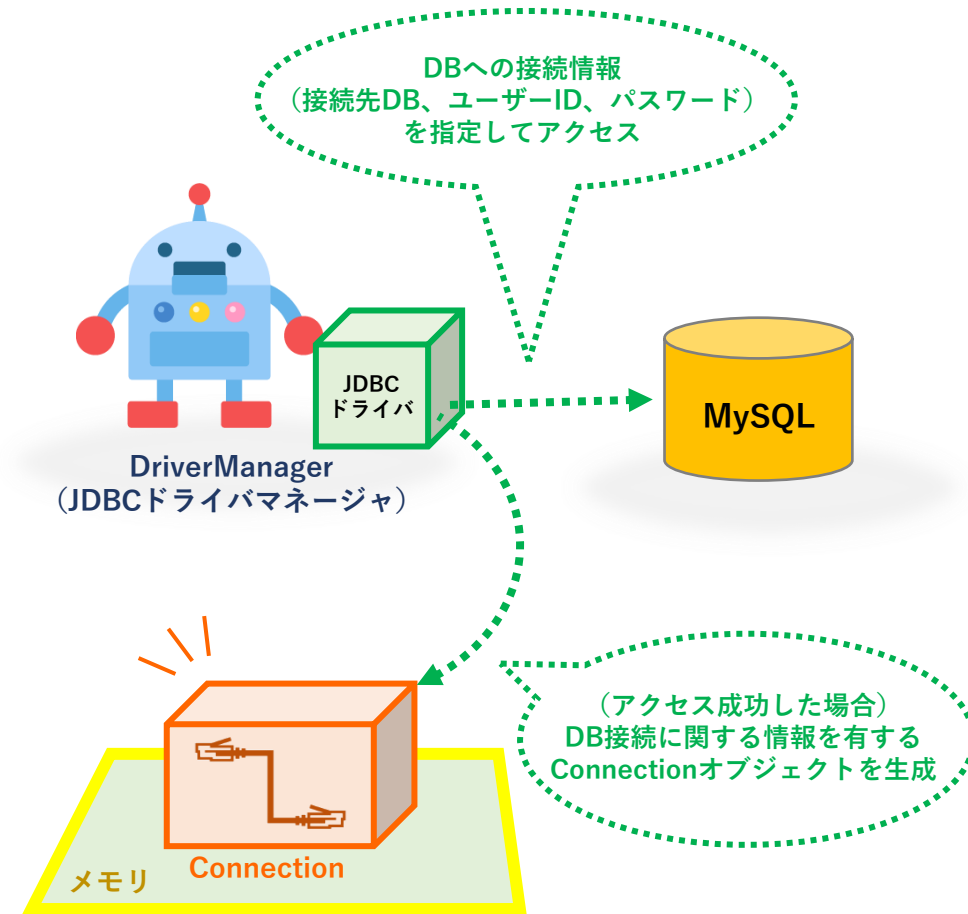
```
Connection con = null ; // Connection (DB接続情報) 格納用変数
```

```
//接続先のデータベース  
//※データベース名が「test_db」でない場合は該当の箇所を変更してください  
String jdbcUrl = "jdbc:mysql://localhost/test_db?characterEncoding=UTF-8&serverTimezone=JST&useSSL=false";  
  
//接続するユーザー名  
//※ユーザー名が「test_user」でない場合は該当の箇所を変更してください  
String userId = "test_user";  
  
//接続するユーザーのパスワード  
//※パスワードが「test_pass」でない場合は該当の箇所を変更してください  
String userPass = "test_pass";
```

```
//-----  
// ②接続の確立 (Connectionオブジェクトの取得)   
//-----  
con = DriverManager.getConnection(jdbcUrl, userId, userPass);
```

DriverManagerクラス

- JDBCドライバマネージャのクラス。JDBCドライバにアクセスしてRDBMSを操作するための様々な機能が提供されている。
- getConnectionメソッドでRDBMSに接続し、接続に成功した場合はDB接続に関する情報を有するConnectionオブジェクトを戻り値として返す。引数にDBへの接続情報（接続先DB、ユーザーID、パスワード）を指定することで接続が実行される。



～データベース接続の5ステップ～

ステップ①
JDBCドライバのロード

ステップ②
接続の確立

ステップ③
SQL文の送信

ステップ④
抽出結果の取得

ステップ⑤
接続の解除

```
PreparedStatement ps = null ; // PreparedStatement (SQL発行用オブジェクト) 格納用変数←
```

//SQL文の生成 (SELECT) ←

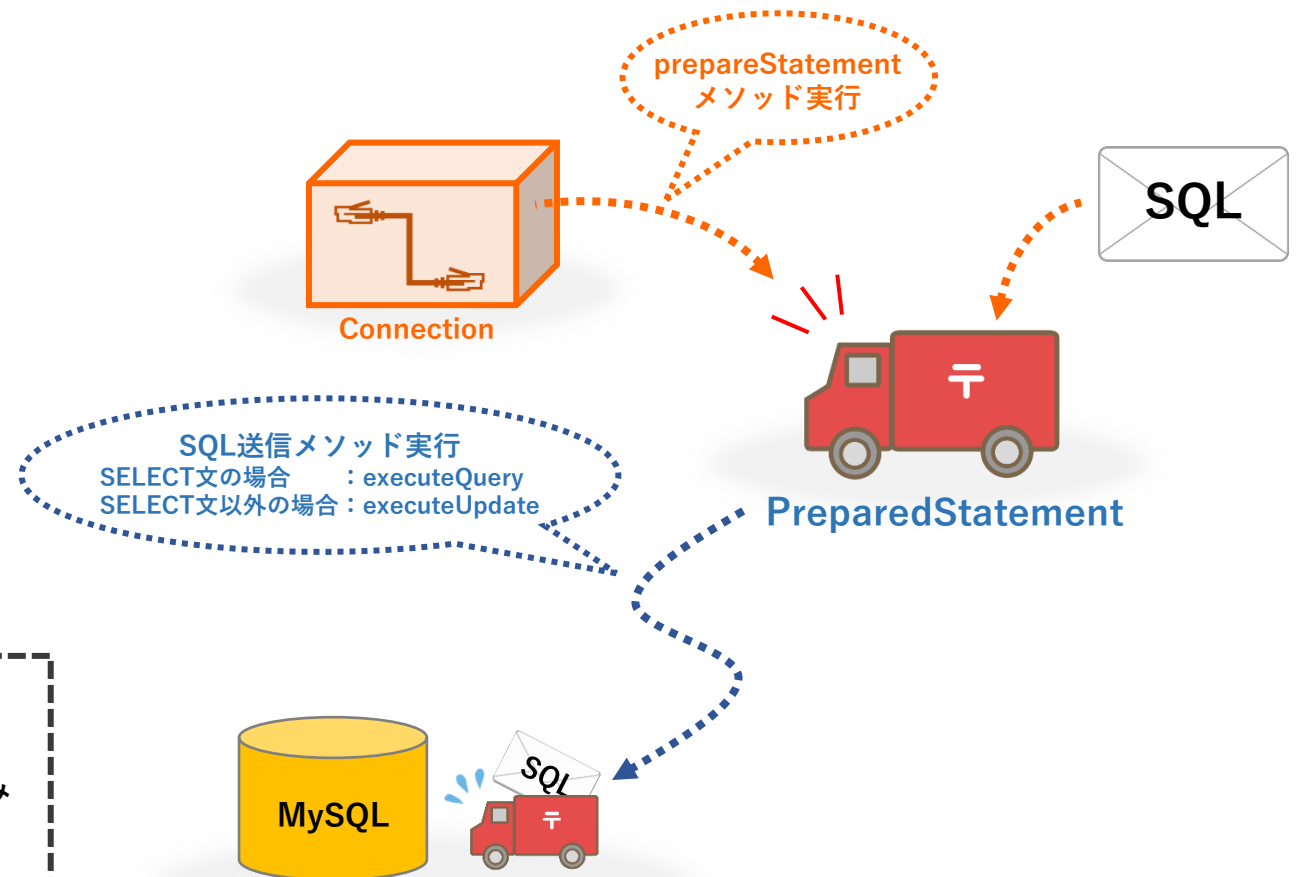
```
StringBuffer buf = new StringBuffer() ;←  
buf.append(" SELECT      ");←  
buf.append("    id        , ");←  
buf.append("    name      , ");←  
buf.append("    gender    , ");←  
buf.append("    age       , ");←  
buf.append("    course    ");←  
buf.append(" FROM        ");←  
buf.append("    uzuz_member ");←  
buf.append(" ORDER BY    ");←  
buf.append("    id       ");←
```

//PreparedStatementオブジェクトを生成&発行するSQLをセット←
ps = con.prepareStatement(buf.toString());←

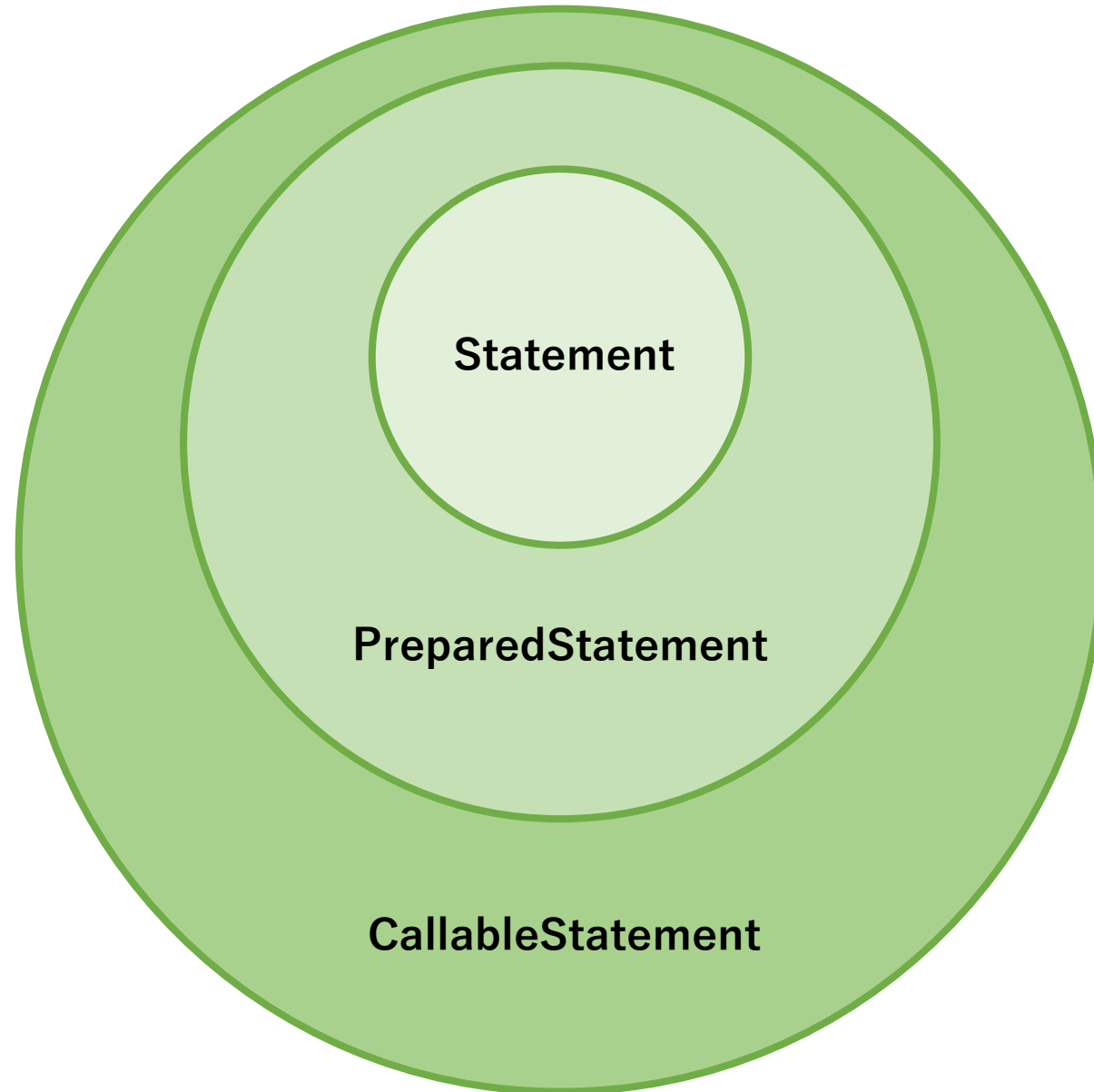
//SQL文の送信&抽出結果 (ResultSetオブジェクト) の取得←
rs = ps.executeQuery();←

Statement系オブジェクト

- ・ RDBMSにSQL文を送信する機能を有するオブジェクト。
※用途によって複数用意されていますが、**本コースではPreparedStatementにのみ触れます。**
- ・ SQLを送信する際はまず送信したいSQLをセットし、次に送信するためのメソッドを実行する。このメソッドはSELECT文を送信する場合に用いるexecuteQuery、それ以外に用いるexecuteUpdateの2種類用意されている。



～Statement系オブジェクト～



～データベース接続の5ステップ～

ステップ①
JDBCドライバのロード

ステップ②
接続の確立

ステップ③
SQL文の送信

ステップ④
抽出結果の取得

ステップ⑤
接続の解除

StringBufferクラス

```
//SQL文の生成 (SELECT) ←
StringBuffer buf = new StringBuffer() ;←
buf.append(" SELECT      ");←
buf.append("   id      ,  ");←
buf.append("   name    ,  ");←
buf.append("   gender  ,  ");←
buf.append("   age     ,  ");←
buf.append("   course   ");←
buf.append(" FROM      ");←
buf.append("   uzuz_member ");←
buf.append(" ORDER BY  ");←
buf.append("   id      ");←

//PreparedStatementオブジェクトを生成&発行するSQLをセット←
ps = con.prepareStatement(buf.toString());←
```

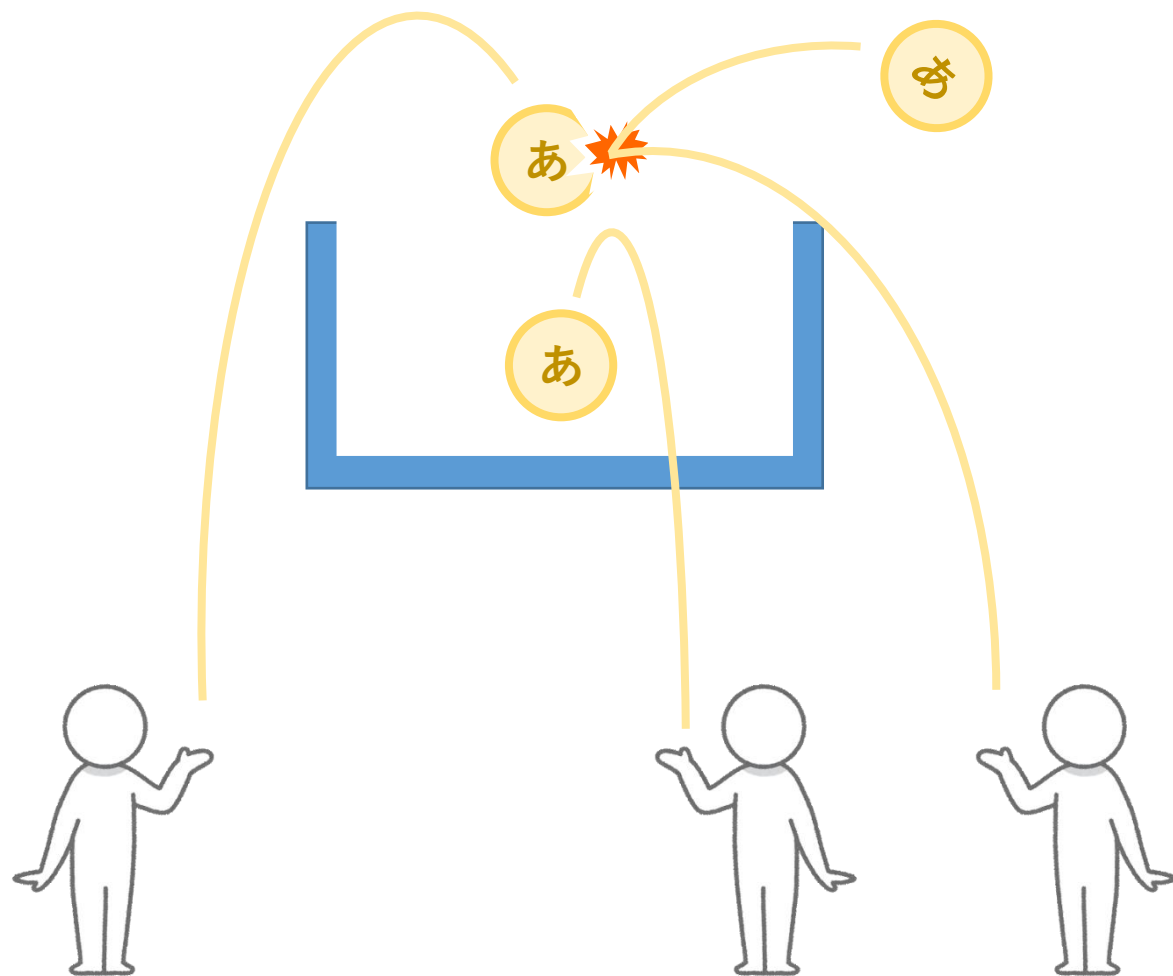
同じ動作

```
//SQL文の生成 (SELECT) ←
String ope = " SELECT      " + ←
            "   id      ,  " + ←
            "   name    ,  " + ←
            "   gender  ,  " + ←
            "   age     ,  " + ←
            "   course   " + ←
            " FROM      " + ←
            "   uzuz_member " + ←
            " ORDER BY  " + ←
            "   id      " ;←

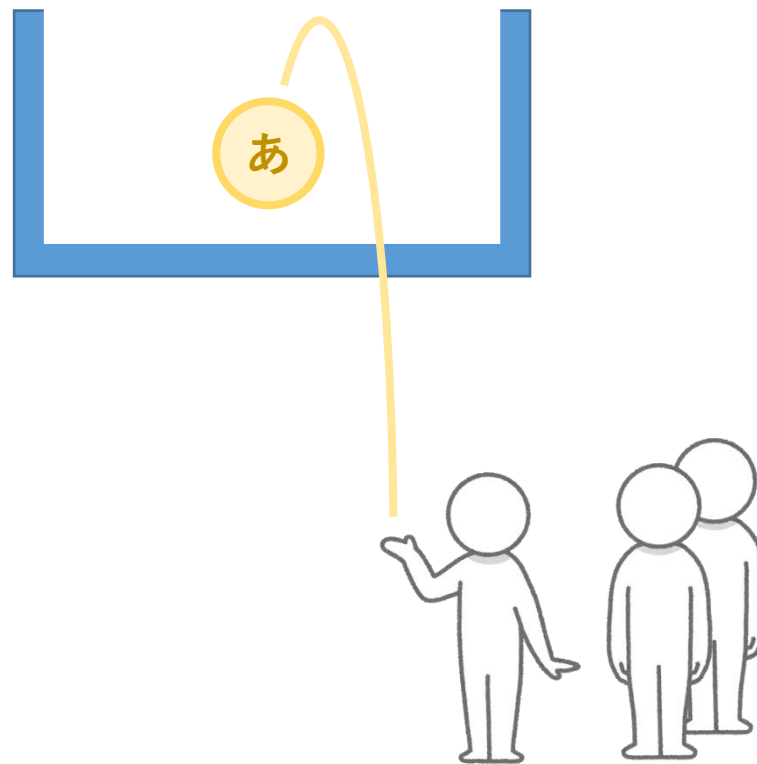
//PreparedStatementオブジェクトを生成&発行するSQLをセット←
ps = con.prepareStatement( ope );←
```

どちらも文字列の結合ですが、結合する文字列が多い場合は
StringBuffer（またはStringBuilder）を使用しましょう。
プログラムの処理スピードに大きな差がでます。

～StringBufferとStringBuilder～



StringBuilder



StringBuffer